

# 田富小だより

令和3年度  
第4号  
7月21日  
田富小学校



## いよいよ夏休み！

子ども達も連日の猛暑に夏休みの訪れを切望している今日この頃です。昨年度は、感染症による臨時休業のため夏休みがとても短かったのですが、今年は例年と同じ長さで夏休みがとれることになりました。夏休みといえば、お祭り、花火大会、お盆、海水浴、スイカ割り…などなど、定番の風物詩があります。今年は感染症の影響でどれだけ体験できるかわかりませんが、2021年の「夏」を楽しく、思い出をいっぱいつくってほしいと思います。

さて、休みに入る前に1学期を振り返ってみたいと思います。成果として挙げられることですが、

- ①全校児童が一人一台端末を使い、ICT機器を教育活動の中で有効活用することができてきている。
- ②挨拶が活発にできた（「おはよう」だけでなく、「こんにちは」「さようなら」も。挨拶と一緒に会釈してくれる子が多い。家庭や地域では如何でしょうか？）
- ③感染症を予防し、健康な生活を送ることができた。

などです。様々な制約を受けながらの学習活動でしたが、子ども達は一生懸命取り組むことができました。この73日間の学びを2学期に確実に繋げていくためにも、夏休みは大変重要な期間となります。ですから、次に掲げること注意到しながら、有意義で、楽しい夏休みになるよう、ご家庭や地域の方々のご協力をぜひお願いしたいと思っています。

- ・「あゆみ」を参考に、1学期の復習をし、2学期の学習につながるようにしましょう。特に、苦手な内容についてふりかえることができるといいですね。自主学習に積極的に取り組みましょう。
- ・長期休業中だからこそ取り組める課題（自由研究、読書感想文、自由課題など）に腰を据えて取り組めるといいですね。計画に従って長期で取り組む課題を「やり遂げる」経験、「じっくり考える」時間を大切にしてください。
- ・今年は、コロナ禍の中、東京2020オリンピック・パラリンピックも開催されます。世界が注目する大きな祭典ですが、一人の地球人としていろんな国を知り、世界のことにについて知ることも大切だと思います。また、8月15日には終戦の日も迎えます。世界や日本の現在や過去の出来事について学ぶよい機会となります。

思いで多い、学びの多い夏休みになるように願っています。

## Withコロナの教育活動推進中！その2

7月は大きな行事が行われました。ひとつは、児童会行事「ハッピースマイルパーティー」。もうひとつは5年生が行った林間学校です。

まず、児童会行事ですが、これは、縦割り班活動を使ったものです。縦割り班というのは、1年生～6年生までが入ってグループを作るもので、上級生は小さい子たちの面倒をみながら活動しますし、下級生たちは、お兄さん・お姉さんからいろんなことを教わります。こういった異年齢の関係は私たちが幼少の頃は、自然発生的にできていました。近所のお兄さんが小さい子を集めてはいろんなことをしていました。地域の皆さんもそうではないでしょうか？私は、このお兄さん達と近所の空き地に「秘密



スリッパ飛ばしの前に手指消毒

スリッパ飛ばしの前に手指消毒



ペットボトルキャップを積む!

基地」を作ったのを覚えています。お兄さんはあれこれ命令するのですが、小さい子への思いやりも忘れず、そして、様々な技術なども伝授してくれました。こういった関係が希薄になった今の時代では、学校などで意図的に組織していかないと成立しにくくなっています。今回の行事も主にゲームを企画・運営してくれたのが、児童会本部を中心とする6年生。縦割りの班グループを引き連れてゲーム会場を回ってくれたのが5年生でした。6年生は、感染症対策をとりながら、どうすれば楽しんでもらえるか事前に打ち合わせを重ねながらがんばってくれました。5年生は、「トイレ、大丈夫?」「少し水を飲もうか」と、小さい子ども達を気遣いながらゲーム会場を効率よく回ってくれました。おかげで、小さい子ども達からは「おもしろかった」という声が多く聞こえました。昨年度は感染症拡大防止のため、実施されませんでした。5・6年生のリーダーシップのもと(もちろん、1年生~4年生も、しっかり楽しくルールを守って参加してくれました)実施できたことが大変教育的価値のあるものであったと振り返っています。教科教育だけでなく、特別活動の重要性も再認識したい機会でしたし、これからも「新しい学校生活」の中でできる様々な活動を推進していきたいと思っています。



7月14・15日の1泊2日で、5年生がハケ岳少年自然の家を拠点として林間学校を実施しました。あいにくの雷雨になり、1日目午後の「冒険ハイク」は途中で実施を断念することになりましたが、飯盒炊飯やナイト追跡(夜の森を目印をたよりに、班で懐中電灯をもって定められたルートを歩く)、翌日の絵図ハイク(地図をたよりに美し森山頂までのハイキング)も雨の影響を受けながらも実施することができました。子ども達はカップを着用しながらの活動でしたが、自主性と協力性を養うに足る貴重な体験でした。特に子

も達の記憶に残ったのは、「自然の力」だったようです。これから、成長していくにつれて自然の中での活動をするのも多くあると思いますが、自然の中で楽しく活動するためにどんなことに注意をしたらいいのか、どのように危険を回避すべきかなど、身をもって学ぶことができたと思います。突然の帰校時刻・解積処場所の変更に対応していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。5年生でのこの経験が来年の修学旅行にきっと活かされていくことと思います。5年生、頑張りましたね。



## 自主学习…その後の様子

学校だより2号でお伝えしました「やってみるじゃんノート」がその後どのようになったかお知らせいたします。「やってみるじゃんノート」は、子ども達の自主学习のためのノートです。自ら課題を決め、家庭で学習を進めていきます。7月20日時点で、子ども達が持ってきたノートの総冊数は、253冊になりました。児童のおよそ73%が1冊提出した状況です。最も多く提出した児童は、4冊でした。1冊が60ページですから、240ページ分の学習をしたこととなります。仮に1ページ学習するのに、10分かかったとすると、学習に費やした時間は2400分=40時間 となります。このペースで1年間学習し続けると、年間120時間の勉強をしたこととなります。「継続は力なり」とよく言います。自分でできる範囲で毎日することが大切です。そのためには決して無理な目標を立てず、簡単で実行可能なものから始めていくことが大切です。児童の皆さん、夏休みに入りますが、毎日少しずついいので、引き続き頑張ってくださいね。